

No.	6	分類	2-(1)-イ	資料名	わしの名前も	学年	2年	領域	道徳	4-(3)
-----	---	----	---------	-----	--------	----	----	----	----	-------

1 ねらい

- 差別に対して、あきらめることなく、人間としての尊厳を守ろうと勇気を出して立ち上がった人々の思いに共感し、差別解消のために自分も行動しようとする意欲をもつ。

2 趣旨

- この資料は、本村からの理不尽な要求や周りの村からの差別に対して、枝村の村人が人間としての尊厳を守るために、葛藤しながらも自分たちの要求を訴えていこうと立ち上がっていく様子が描かれている。歴史学習等で差別が作られてきた過程や差別の実態について学ぶことに加えて、差別に立ち向かった人々の思いや生き方に触れることで、自らを見つめ、差別解消の担い手となろうとする意欲や態度を育む資料である。
- 寄合の様子を劇化したり、その家族の気持ちを想像させてイラストに描写するなど、体験型の学習を工夫し、単に歴史的な事実の理解に終わることなく生徒が人々の思いに共感できるようにしたい。

3 配慮事項

- 社会科との関連を図りながら、系統的な指導計画の中で取り扱うことが大切である。

4 展開例

学 習 内 容	指 導 上 の 留 意 点
<p>1 枝村の人々の告発に込められた願いを考える。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">枝村の人々の告発には、どんな願いが込められているのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分たちや、子、孫の生活を守りたい。 ・人としての尊厳を守りたい。 ・差別の不合理を明らかにしたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・与助の言葉や厳しい表情で語る太兵衛の言葉から、告発に込められた願いについて話し合う。 ・差別政策がいかに理不尽なものであったのかを理解させ、枝村の人々の怒りに共感させ、願いに迫らせたい。
<p>2 返答を問われ、「言いしれぬ恐れ」が胸に迫る村の人たちの気持ちを考える。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">「言いしれぬ恐れ」が胸に迫る村の人たちは、どんなことを考えていたのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・追放や死罪など、本当に覚悟できるのか。 ・残された家族の生活はどうなるのだろうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・家族を残して死んでいくことになるかもしれない恐怖や苦悩を感じさせ、それでも行動せざるをえなかったのは、何のためであったのかを考えさせたい。
<p>3 眼を閉じた太兵衛の思いを話し合う。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">姿勢を正し、眼を閉じた太兵衛は、どんなことを考えていたのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分は、本当に闘う気があるのだろうか。 ・これで自分たちの思いは伝わるのだろうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・太兵衛の行動から、人間の尊厳を守ろうとする姿や差別に立ち向う強い決意を感じ取らせたい。
<p>4 「わしの名前も書いてくれ。」と叫んだ与七の決意について考える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自分も差別をなくす主体となって、太兵衛とともに闘いたいという与七の思いを理解させたい。
<p>5 学習を終えての感想を書く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・枝村の人々の生き方から感じたことや学んだことを今の自分の差別やいじめに対する行動と対比しながら書かせる。

5 参考

- 本教育資料No.23「同和問題の歴史について調べ、考えよう」を参考とすることができる。